

2014. 4. 1

BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM NEWS

編集・発行 文化学園服飾博物館

- 服飾博物館の展示ができるまで…… 1
- 2013年度の活動報告…… 2
- 服飾博物館トピックス…… 3
- 2014年度展示のご案内…… 4

## 服飾博物館の展示ができるまで・・・

皆様に毎回お楽しみいただいている服飾博物館の展示は、どのように出来上がっていくのでしょうか。今回はその舞台裏をご覧いただきましょう。

服飾博物館では、年間4回の企画展示を行っています。展示では、「染織技法」や「地域」といったテーマに焦点を絞り、所蔵品の中から資料を選び、構成しています。



### ★ STEP. 1

#### 展示の企画

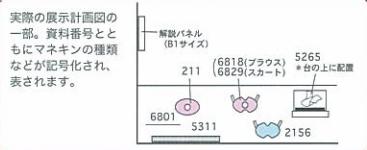
展示の方針や内容を決め、解説パネルや説明文などを作ります。



展示企画会議。展示の方針に従い、出品資料、展示方法などを決め、図面に表します。



展示品を説明するための解説パネルや動画編集等、すべてパソコンで行います。



### ★ STEP. 2

#### 広報物の作成

展示のイメージやコンセプトをデザイナーに伝え、ポスター、チラシなどの広報物を作成します。



デザイナー、印刷業者を交えての打ち合わせ。印刷物に使用する展示資料は、色が実物と異なるよう、特に気をつけます。



↓

### ★ STEP. 3

#### 展示作業

展示台や展示ケースをレイアウトし、マネキンや衣桁などでの展示具を準備してから、資料の展示に取りかかります。

展示室内のレイアウトや順路は毎回変わるもの、その都度ケースや台を動かします。



時を経た染織品はたいへん弱く、傷んでいる場合もあります。このため、資料を取り扱う際には2人以上のチームを作り、慎重に展示作業に取り組みます。



説明文・解説パネルの配置。間違いがないか、読みやすい位置にあるか、一つ一つ確認しながら行います。

ライティング。当館ではLEDを使用しています。資料への負担を最小限にし、いかに美しく、また見やすくするかがポイントです。

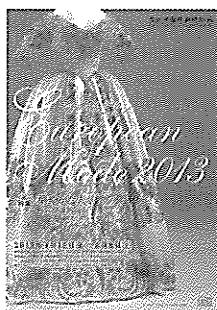


毎朝行う館内清掃。特に新しい展示が始まる前日は、ガラスの内側や床など、展示作業による汚れをきれいに落とします。



チラシやポスターの貼り替え、看板の取り付けを行います。

# 2013年度の活動報告



ヨーロピアン・モード 2013  
4月12日～6月8日

本展では、18世紀ロココ時代の優雅な宮廷衣装に始まり、1970年代の若者により打ち出された多様なスタイルに至るまで、政治・経済が大きく変化する社会背景と共に変遷した女性モードを、各時代の特徴を捉えた資料で構成しました。特集では、セレブリティにまつわるドレスや染織品を紹介しました。イギリス・フランス・ロシアの歴史上名高い王族、人々に影響を与えた女優オードリー・ヘップバーン、イギリスのダイアナ元皇太子妃、昭和を代表する舞台女優越路吹雪など、時代を彩った人々の輝かしい姿が衣服を通して実感できることと思います。



『装苑』と『装苑賞』その歩み  
7月3日～9月28日

本展では、1936年の『装苑』創刊号から最新号までの約850冊、さらに創刊20周年を記念して1956年に創設されたファッショコンテスト「装苑賞」の受賞作品84点を一堂に展示しました。『装苑』の表紙や編集内容の変遷、また創作のエネルギーに満ちた「装苑賞」受賞作品からは、それぞれの時代の風潮や日本ファッションの歩みそのものが感じられました。文化学園が創立90周年を迎える本年、『装苑』を擁する本学がファッション教育をリードし、今や世界で高い評価を受ける日本ファッションの土台作りを担ってきたことも再認識できたことだと思います。



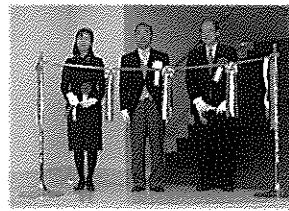
明治・大正・昭和戦前期の宫廷服  
－洋装と装束－  
10月23日～12月21日

文化学園創立90周年を記念して開催された本展では、明治時代から昭和戦前期の男女の洋服、束帯や十二单、袴など80点余りを出品しました。日本の近代化を内外に示すために導入された洋服と、長い伝統を持つ装束が共存するこの時代の宫廷服には独特の美しさがあり、近代日本の一面が示されています。

展覧会はメディアでも取り上げられ、展示室は連日多くの人にぎわいました。特別な機会に着られた華やかなドレスや、厳かな儀式で用いられた装束を目の当たりにし、来館者からは感嘆の声が寄せられました。

## 11/1 文化学園90周年記念特別鑑賞会

文化学園創立90周年記念特別展  
「明治・大正・昭和戦前期の宫廷服」  
において、記念式典および特別  
鑑賞会を行いました。



左：河村潤子 文化学園次長  
中：大沼淳 文化学園理事長・服飾博物館館長  
右：鈴谷眞美 日本博物館協会会長・東京国立博物館館長



お見送りの文化ファッション大学院大学  
の学生にお声をお掛けになる次長。

## 11/27 観光庁の事業に参加

観光庁の推進するユニークベニュー\*の開発、利用促進の一環として行われたイベントで、参加者向けに展示の解説をしました。

\*歴史的建造物や公的空間等で、会議・セミナーを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。



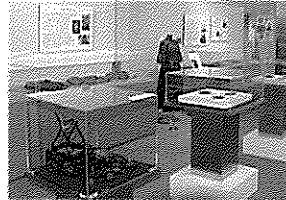
## 12/18 明治大学の教養・文化講座に協力

明治大学リバティアカデミー（教養・文化講座）  
「ア・ミュージアム -『知』の玄関への招待-」の  
第8回講座において、当館見学が行われました。



## 館外での展示、他館への展示協力をしました

- 「交流の歴史と鏡」展 … (服飾博物館所蔵品約50点の展示)  
5月1日～6月16日 主催 = 学校法人文化学園 会場 = 飯山市美術館
- 「田中本家のおしゃれ・西洋のおしゃれ」展 … (所蔵資料20点の貸出)  
4月13日～5月27日 主催・会場 = 田中本家博物館



「交流の歴史と鏡」展



「田中本家のおしゃれ・西洋のおしゃれ」展

# 服飾博物館トピックス

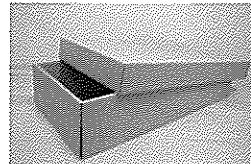
## ご家庭で役立つ服飾博物館のワザをお教えします！

家にある大切な思い出のある服はどうやってしまっておけばいい？海外で買ったアンティークの布を部屋に飾りたい！  
ご家庭にある服や染織品と上手につき合うために、服飾博物館のとっておきのワザを活用してみましょう。

### 1 大切な服をなるべく良い状況で保管してみましょう。

#### ① ホコリを防ぎ、酸・アルカリの影響を考える

大切な服の保管には、中性紙で作られた紙箱がおすすめです。箱に入れることでホコリを防ぐことができます。「中性」というのは、酸性、アルカリ性といった偏りのない性質のことで、劣化を遅らせることができます。染織品の他にも、古い写真、フィルム、ビデオテープ、書状など、ご家庭にあるものの保管にも応用できるでしょう。現在、さまざまなサイズの箱が市販されています。



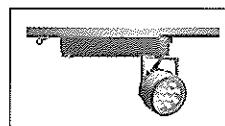
服飾博物館で使用する中性紙の箱。  
ドレス用、着物用と、資料のサイズ  
で箱の大きさを使い分ける。見た目  
は普通の箱と変わらない。金具を使  
わずに成形されている。

#### ② 紫外線の影響を考える

紫外線は染織品の色あせの大きな要因となります。近年はウォーク・イン・クローゼットなどで洋服を保管するご家庭も増え、たんすやクローゼットでの保管より照明にさらされる機会が多くなりがちです。このような場合、LED電球・蛍光灯を使うことが有効です。LEDは紫外線、赤外線を含まない光源で、環境にもやさしく、節電にもなります。



着物などを折りたたんで収納  
する際、中性紙の薄紙などを  
丸めてクッション材とすれば、  
しわや折り目からの布の劣化  
を緩和することができます。



服飾博物館で使用する演色効果の高  
い調光機能付LEDスポットライト。  
提供：パナソニック株式会社

#### ③ 防虫剤を正しく使う

防虫剤には、樟脑、ナフタリン、パラジクロロベンゼン、ピレスロイドなどの種類があります。種類の異なる防虫剤を併用したり、用量や取替時期を誤ると、防虫効果が発揮されないばかりか、しみや劣化の原因になりかねません。使用上の注意をよく読んで使いましょう。

！右の写真のような成虫や幼虫を見つけたら注意して点検しましょう。



衣類の害虫  
イガの成虫(左)とヒメカツオブシムシの幼虫(右)  
提供：イカリ消毒株式会社

### 2 布を部屋に飾ってみましょう。

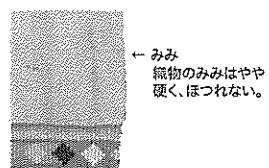
染織品をインテリアに使うことで、部屋の雰囲気をがらっと変えることができますね。布をきれいに飾ってみたい方へ、服飾博物館からのアドバイス\*です。

布を使ったインテリア実例  
提供：[www.jutanya.com](http://www.jutanya.com)



#### ① 布の性質を考える

素材によって重量や性質が異なりますので、吊る、掛ける、敷くなど、最適な方法を見極めましょう。布を吊る場合にはまず布目の方向をよく見て、可能であれば、たて方向（織り方向、左右両端にみみがある方向）に飾りましょう。こうすれば布にかかる負担が軽くなります。

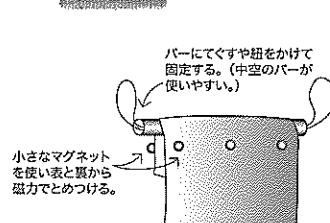


← みみ  
織物のみみはやや  
硬く、ほづれない。

#### ② 布へのダメージを最小限に

布を吊る、掛ける場合には、針や画びようではなく、磁力の強い小さなマグネットを使ってバーに固定すれば、布に穴をあけず、また針のサビによる劣化を防ぐことができます。小さな布であれば、額に入れることでホコリを防ぐことができます。この際、シートタイプの調湿保存材などを裏側に入れておくと良いでしょう。窓際など、日光の入る場所に長期間飾っておくと、色あせの原因ともなりますのでご注意下さい。

\* 調湿保存材は用法を守ってご使用ください。



バーにてぐすや紐をかけて  
固定する。(中空のバーが  
使いやすい。)



ドレープをつけた布

#### ③ 魅力的に飾る

薄く柔らかな布は、ドレープをつけて飾ることで布の持つ美しさが引き出されます。照明を使って陰影をつけると、いっそうの演出効果が期待できます。

！照明具と染織品の間隔は充分保ち、特に熱を発する光源は火災等に気をつけて下さい。

\* 一般住宅を想定したアドバイスです。高層建築物、地下街、および店舗などでは、消防法の「防災規則」により、カーテン\*やじゅうたん\*などに防炎物品\*の使用が義務付けられています。また、高さ31メートルを超えるマンション（おおむね11階以上）などにお住まいの方も、居住階に関係なくこれらを防炎物品にしなければなりません。

\* 下げ丈がおおむね1メートル以上の装飾布やのれんなども規制の対象となります。

\* 合算で2平方メートルを超えるもの。

\* 防炎物品 … 消防法に定められた防炎性能基準の条件を満たす燃えにくい性能を持つ機器製品。

【防炎に関する詳細は、公益財團法人 日本防災協会のホームページをご覧下さい。（<http://www.jfra.or.jp/>）】

# 2014年度 展示のご案内 ● Exhibition Schedule

～5月24日 \*4/6は開館 4/25、5/16は19:00まで開館

## ヨーロピアン・モード

18世紀の華やかなドレスから、多様なスタイルが打ち出された20世紀末まで、約250年間のヨーロッパの女性モードに焦点を当てます。18世紀のロココ時代にはモードは限られた女性だけのものでした。しかし、20世紀にはその担い手は大衆へと移り、さらに流行の発信もヨーロッパからの一方向ではなくなりました。そこには、社会構造の変化や産業の発達、女性の意識変化などのさまざまな要素がからみあっています。今回は子供服や男性の衣装も交えながら流行を振り返ります。

アビ・ア・ラ・フランセーズ  
1780年代 フランス



Tシャツ、スカート  
1976年 イギリス  
ヴィヴィアン・ウエストウッド



ティ・ドレス  
1865年頃 アメリカ



女児ドレス  
1900年代 フランス

6月18日～9月13日 \*夏期休館=8/10～17 8/3、24は開館  
6/27、9/5は19:00まで開館

## 世界のビーズ

ビーズによる装飾は古くから世界各地で行われてきましたが、それは単なる装飾にとどまらず、富や身分を象徴したり、祈りを込めたりすることもありました。ビーズの素材や形、大きさ、色などは地域や時代によってさまざままで、多彩な表現が可能です。本展では、交易品として珍重されたガラスピース「トンボ玉」、ヨーロッパの華やかなビーズ刺繍のドレス、象徴的な意味を持つアジアやアフリカの各民族の衣服や装身具など、多種多様な約40か国の大約40か国のビーズを紹介します。

女性用衣装  
20世紀中頃  
ミャンマー カレン族



ドレス  
1920年代  
フランス



女性用前掛  
20世紀中頃  
南アフリカ共和国  
ンデベレ族



10月10日～11月22日 \*11/2、3は開館 10/17、11/14は19:00まで開館

## 文化学園大学 創立50周年記念 雛人形・雛道具に映し出された 雅の世界

日本人は古来、小さなものに慈しみを感じ、盆栽や箱庭、雛人形・雛道具に見られるような縮小されたものに世界観を表してきました。本展では、明治時代の雛人形・雛道具と、それらの元となる十二单や束帯などの装束や蒔絵を施した調度類を合わせて展示します。ひな形と実物大を比較して見ることで、現代のフィギュア文化にも通じる日本人のミニチュアに対する美意識の一端を感じられることでしょう。

\* 本展では、文化学園大学の前身である文化女子短期大学の学長を務められた尾張徳川家当主・徳川義親氏の夫人、米子様の雛飾りが徳川美術館より特別出品されます。

雛道具  
江戸時代末  
毛利家伝来  
大村家旧蔵



内裏雛  
大正～昭和時代初期 東久連宮家旧蔵



棚  
江戸時代末  
和宮所用

12月17日～2015年2月14日 \*1/16、2/6は19:00まで開館

## 時代と生きる -日本伝統染織技術の継承と発展-

友禅、絞り染め、型染め、絣、紋織り、刺繡、、、日本の伝統服飾である着物や帯に関わる染織技法は世界に類を見ないほど多岐にわたっています。これらの技術は概ね江戸時代に確立され、明治時代の産業の近代化=機械化に始まり、大正、昭和と時代ごとに技術革新を取り入れながらも、伝統的な手仕事にもこだわり、技術の伝承がなされてきました。本展では、江戸時代後期から現代までの着物や帯を紹介しながら、その中に生きる伝統技術と技術革新の歩みを見ていきます。

写し友禅の着物  
昭和12年



型鹿の子の小袖 (部分)  
江戸時代後期



銘仙の着物  
昭和時代初期



提供:松原伸生

\* 上記の予定は都合により変更されることがあります。

## 利用案内

- ◆ 開館時間 10:00～16:30 (各展示会期中2回、19:00まで開館 入館は閉館の30分前まで)
- ◆ 休館日 日曜日、祝日、夏期・年末年始、展示替の期間
- ◆ 入館料 一般 500(400)円・大高生 300(200)円・小中生 200(100)円  
(\*内は20名以上の団体料金、障がい者とその付添者1名は無料)
- ◆ 交通 JR/京王線/小田急線 新宿駅(南口)より徒歩7分  
都営地下鉄 新宿線/大江戸線 新宿駅(新都心口)より徒歩4分



## 文化学園服飾博物館

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7

TEL. 03-3299-2387

<http://museum.bunka.ac.jp>

学校法人 文化学園

文化学園大学/文化ファッション大学院大学/文化服装学院/文化外国语専門学校/文化出版局/文化学園服飾博物館